



宝塚市自治会連合会報

MY TAKARAZUKA 2000

MY たからづか

宝塚市自治会連合会加入
自治会長 徽章

宝塚市自治会連合会

(事務局) 宝塚市役所内
〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号
電話 宝塚 (0797) 71-1141
FAX 宝塚 (0797) 77-2086
e-mail sumire@city.takarazuka.hyogo.jp
編集企画 宝塚市自治会連合会総務研究班
発行人 宝塚市自治会連合会会長 前坂定義



暮らしに安心・安全・快適を 市民生活の基盤 自治会活動

自治会って何時のころから始まったのでしょうか？もちろん、今のような自治会組織は戦後確立されたものですが、自治会に良く似た民衆の組織の始まりにはいろいろな説があるようです。

千年ほど前だとか、もっと古いころからだとか、いや江戸時代らしいとか。明治になってからだとか。いずれにしても、民衆が地域社会を形成していく過程で自治組織は欠かせなかったことは間違いない歴史的事実だったと言えます。

このように長い歴史の中で積み重ねられてきた自治会活動はどのように育ち、拡がってきたのでしょうか。

また、私たちの町、宝塚では自治会は、どのような道を辿って、今の形が作られてきたのでしょうか。市民活動の大切な基盤である「宝塚市自治会連合会」の今をみなさんに

自治会と自治会連合会

自治会活動は市民生活そのものに結び付いた大切な市民活動の基盤です。毎日の「暮らしの安心・安全・快適」を守るため、地道な活動を通じておられる自治会のみならず、本当にご苦労さま。

今、市内で結成されている自治会は二百六十九で、そのうち、百九十五の自治会（全体の七十二%）が宝塚市自治会連合会に加入しています。



連合会報発行にあたって

宝塚市自治会連合会会長 前坂 定義

地域のことは地域住民の手で... 地方分権が進み、地方の自立が求められる今、地方自治の活性化に関わる住民の役割がどんどん拡がり、重要性がまざまざと出てきています。宝塚市でも七つのブロックに二十のまちづくり協議会が出来上がり、住民活動がますます多様化してきました。この状況の中、自治会活動の在り方も変革を求められます。新しい発想と行動の多様化で、他の住民組織との融和、協調を進めねばなりません。

自治会連合会も、すでに新しい取り組みを始めています。研究班活動の強化、各種研修の促進などが挙げられますが、今回自治会組織の強化と活性化のために、そして自治会連合会の組織と活動の現状を知っていただくために広報紙を発行することになりました。今後も定期的に発行して参ります。これを機に住民の皆さんのより一層のご理解とご協力をお願い致します。

自治会連合会の組織とは

自治会連合会組織は、同時に宝塚市保健衛生推進協議会組織を兼ねています。

会員数（世帯数）は約五千七百七十で全市世帯数の約七十三%です。

自治会連合会は、この自治会やその会員世帯と市を始めとする行政各所とをつなぐ役目を果たしています。

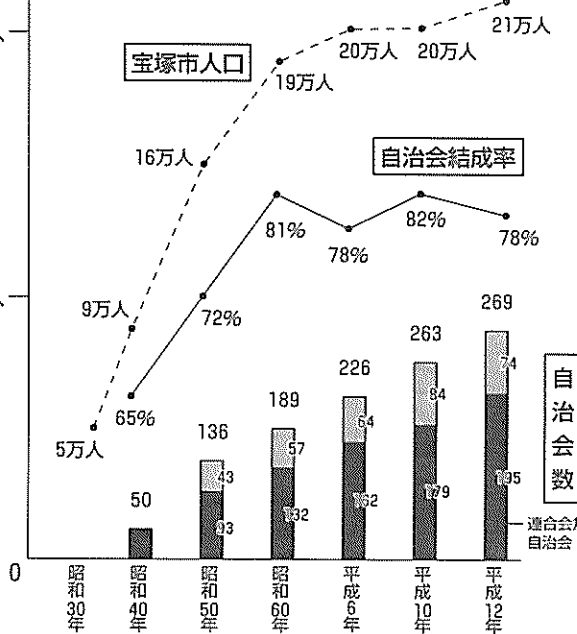
自治会連合会「があって、地域に合った独自の活動をしています。各地区連合会からは、三、五名、計二十九名の理事が選ばれ、市連合会・協議会活動に送り出されています。二カ月に一回、その二十九名で開かれる定例理事会は、連合会・協議会の意志決定の重要な場。身近な課題の検討や方向付けを行います。その内容は、地区ごとの情報チャネルで各自治会長に伝えられ、生かされています。

連合会七人のサムライ

各ブロック、七人の地区連合会長は市連合会・協議会の会長・副会長を兼ね持って、理事会議題の設定や進行を務めます。また、市の各種審議会に委員として参画し、市民代表の立場で意見を述べ、意志を伝えます。さらに、宝塚市社会福祉協議会（社協）・宝塚市同和教育協議会（宝同協）・宝塚市花と緑の協会・宝塚市暴力団追放推進協議会などの理事・評議員としての運営に参画しています。

単位自治会の結成状況

平成十二年六月一日現在、宝塚市域には二百六十九の自治会が、概ね平均二百二十世帯単位に組織されています。約二〇%を超える世帯が未組織という自治会の空白地があり、助け合いや支え合いの出来ない現実は大きな問題です。



平成12年度 宝塚市自治会連合会 及び 宝塚市保健衛生推進協議会

役員一覧 (括弧内は地区と所属自治会)

- ◇連合会長・協議会副会長・理事 前坂 定義 (7 長谷)
- ◇副会長・理事 松川富貴子 (2 逆瀬川)
- ◇協議会長・連合会副会長・理事 井熊 一郎 (1 福井・亀井)
- ◇理事 岩田 貞雄 (1 小林)
- ◇理事 尾崎 久 (1 日商岩井逆瀬川マンション)
- ◇理事 川端 穰 (1 御所の前町)
- ◇理事 三輪 宏子 (1 仁川月見ガ丘)
- ◇理事 越智 昭郎 (2 宝塚南口)
- ◇理事 水上 和子 (2 宝南)
- ◇理事 西畑 一郎 (2 光ガ丘)
- ◇理事 西沢 明夫 (2 宝梅)
- ◇理事 中野 武 (3 鍋野)
- ◇理事 賀長 諭 (3 清荒神)
- ◇理事 足立 民雄 (3 御殿山北)
- ◇理事 吉川 吉弘 (4 小浜南)
- ◇理事 西田 信之 (4 安倉)
- ◇理事 古谷 仁 (4 旭町2・3丁目)
- ◇理事 米田 省吾 (5 中島)
- ◇理事 武呂 勉 (5 山本)
- ◇理事 稲野 廣 (5 中山寺)
- ◇理事 矢元 正雄 (6 平井山荘)
- ◇理事 辻 敬二郎 (6 花屋敷つじガ丘)
- ◇理事 岡 哲也 (6 中山五月台)
- ◇理事 古家 光 (7 大原野西部)
- ◇理事 蔵本 直之 (7 切畑)

活性化へ向かって

新しい取り組み

自治会活動もさまざま変わり

《本年度活動の重点》

地方自治の活性化に関わる住民の役割がどんどん拡がり、重要性が増してきています。宝塚市でも七つのプロックに二十のまちづくり協議会が生まれ、住民活動がますます多様化してきました。この状況の中、自治会活動もさまざまな変化を始めています。新しい発想と行動の多様化で、他の住民組織との融和、協調も進めねばなりません。

自治会連合会も、新しい取り組みを次々に始めました。

■ 研究班活動の強化

連合会機能をより一層強化するために、「研修(各種研修)」の企画運営(「総務(総会運営・広報企画など)」の二研究班が連合会活動のグレードアップに取り組んでいます。また、暮らしの安心・安全・快適をより深める道を模索するために「福祉(介護保険で何が変ったか)」「防災(自主防災会運営のありか)」「環境(駅前不法駐輪、市街地不法駐車への対策など)」の三研究班。



自治会長研修会での発表風景

《自治会活動の支援》

これらの検討結果は理事会で報告し、場合によって連合会長名で市長に申し入れることも。平成十年度には不法駐輪対策で申し入れしました。二十九名の理事は、いずれかの研究班に参加して、研鑽と活動を進めています。

《課題は自治会結成の促進》

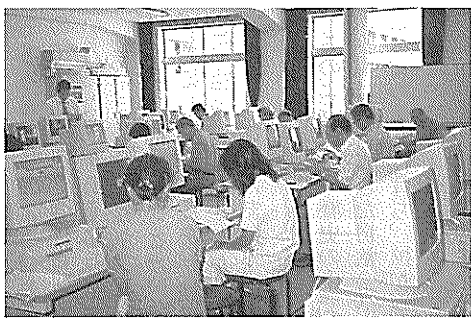
多岐にわたる自治会長研修

■ 頑張る!! 新任会長さん

毎年七月には、新任会長を対象とするクリーンセンター見学と定例研修会が持たれます。今年度の研修テーマは「市民に期待される自治会活動を求めて」でした。

■ パソコンにトライ

また、七月の二週間、自治会役員のためのパソコン研修会を開きました。二十人が参加、ホームページ作成までを修得、早速自治会活動に役立っています。これからは、自治会運営に直接役立つ専門研修会を企画していきます。



■ 他都市との交流も

十一月一・二日の両日には、他市視察研修を実施。今年度は、早稲田市のお仲間、福井県武生市と富山県砺波市を訪問、両市自治会の活発な活動振りを勉強しました。

がより活発に活動できるよう、連合会はいろんな支援を行っています。

- ◇暮らしに身近な行政情報の提供
- ◇コミュニティ保険(損害保険・役員傷害保険)加入
- ◇他自治会との交流、情報交換の機会提供
- ◇各種研修機会の提供
- ◇活動支援のための運営資金

- ◇環境整備支援(ごみ袋、草花の提供等)
- ◇防災活動支援(防災資器材の提供等)

課題は自治会結成の促進

今市内にお住まいの世帯で、まだ二十%をこえる人たちが自治会に加入されていません。近年とみにマンション建設が増え、人口が増加していますが、この傾向も自治会結成率が伸びなやむ一因となっています。

マンションには管理組合があつて建物全体の自主管理は整備されているでしょう。自治会が果たす役割のうち「快適」の中のごみ処理や清掃にも不便はないし、ご近所付合もありません。

その一方では宝塚市の自治会活動やコミュニティ活動を見られる他市関係者の訪問を受け、他地区との交流が深められ、勉強できる機会も数多くなっています。

地区連合会が独自の研修 また、地区連合会の回り持ちによる研修会を年に三回、

の提供(行政事務委託料・資源ごみ回収奨励金・集会施設利用補助金・市交通共済あつせん手数料等)

これらは連合会からの支援と連合会を通じた行政支援です。

もう一度みんなで思い起こし、考えてみましょう。全市民に二十のコミュニティ(まちづくり協議会)が組織され、活発に活動を始めます。ここでの福祉サービスの利用や、健康づくり、住民交流への参加にも、自治会結成と加入があつてこそ、容易になつてきます。

自治会活動の新しい在り方が求められている今、地域のことは地域住民の手で……と、私たち自身の問題として一日も早く打開の努力をしなければとの思いから、本年度の総務研究班は連合会理事会から大きな宿題を与えられました。どのようにして、自治会活動に参画していただけるか。おそまきながら取り上げられた「広報」活動。まずは、ご覧の広報紙を発行し、回覧に供する次第。

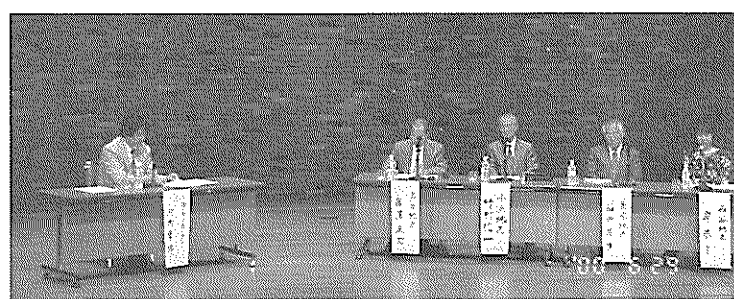
編集のついで

自治会活動の新しい在り方が求められている今、地域のことは地域住民の手で……と、私たち自身の問題として一日も早く打開の努力をしなければとの思いから、本年度の総務研究班は連合会理事会から大きな宿題を与えられました。どのようにして、自治会活動に参画していただけるか。おそまきながら取り上げられた「広報」活動。まずは、ご覧の広報紙を発行し、回覧に供する次第。

次号からは、もっと身近な題材を取り上げる余裕を持ちたいと今から、気遣は十分です。みなさまのご意見ご要望をぜひ事務局へ直接に、また自治会長を通じてお聞かせ願えればこの上なしの心境です。(総務研究班)

ご一読頂きご批判などお寄せ頂ければ、私たちの思いも通じたといえるのではないのでしょうか。市のホームページにも収録しています。ご利用ください。第1号だけに、全般的な内容に終始してしまいました。ご不満も多いかと気になって

一般市民にも幅広く呼び掛けた研修活動



本年6月、自治会連合会として初めて自治会役員や一般市民に参加を呼びかけて、フォーラムのオープン行事を開きました。

場所は **ベガホール**
テーマは **「歴史的遺産、伝承文化をまちづくりに」**

多くの方の参加を得られたので、本年以降も引き続き継続していくと、より中身の濃い企画を準備中です。さらにまちづくり協議会が実施している研修会行事やフォーラムとも連携・整合を図り、充実させていく方向です。

歴史的遺産・伝承文化を新しいまちづくりに

地域の誇りを求めて 講演会などを開催

市は「歴史的遺産・伝承文化を新しいまちづくりに」をテーマに講演会・パネルディスカッションを開催します。

これは、市内にある身近な歴史的遺産、伝承、祭りなどを見直して新しいまちづくりに生かしていこうと、市のコミュニティ活動の中

心である市自治会連合会が企画しました。日時、場所などは次のとおり。

【日時】六月二十九日(木)午後二時～五時

【場所】ベガホール(申請済み) 当日直接会場へ。

詳しくは市役所コミュニティ課(☎205)へ。



河内厚郎さん

市は「歴史的遺産・伝承文化を新しいまちづくりに」をテーマに講演会・パネルディスカッションを開催します。

【内容は】文化プロデュースの河内厚郎さんによる講演、野田千晶さんによるハープ演奏、パネルディスカッション。